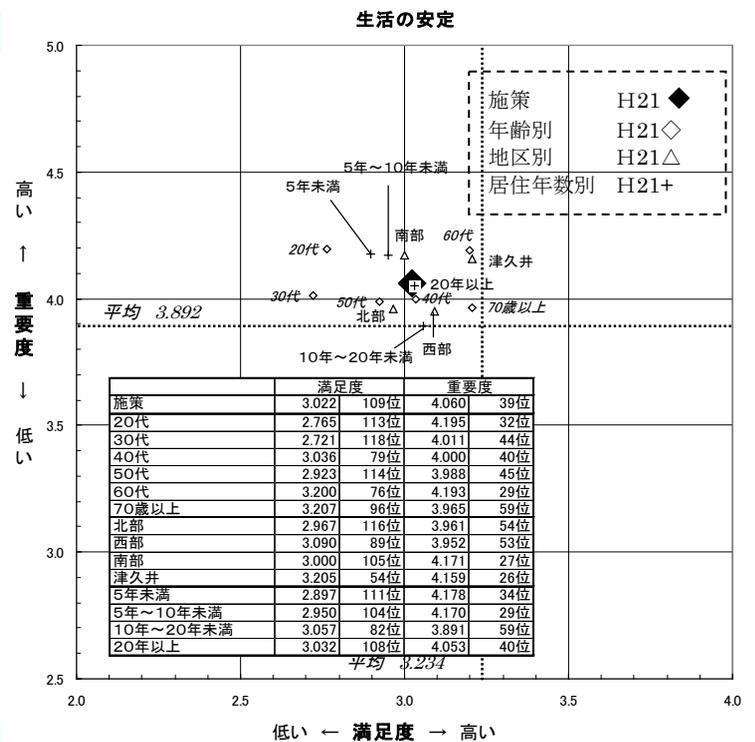


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.022で全119施策の中で109番目。
- 重要度は4.06で39番目である。
- 改善要望度は0.269で21番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

| 視点の種類 | 評価基準・着眼点 | 評価点 | H20評価点 | 前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由 |
|-------|--|-------|---|--|
| 有効性 | 各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している | ④ 2 1 | ④ 2 1 | |
| 効率性 | 最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している | ④ 2 1 | | |
| 市民満足度 | 市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している | 4 ② 1 | 4 ② 1 | |
| 合計 | | 10 | 評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下) | |
| | | | | 1次評価 A |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

| | |
|-----|--|
| 課題 | 生活保護受給世帯は、高齢者と傷病者が65%を占めていることから、就労自立のみならず、世帯の実情に応じ、債務整理など経済的な自立、自分で自分の健康・生活管理を行う日常生活の自立、地域社会の一員として充実した生活を送る社会生活の自立を目指すプログラムを幅広く用意し、参加を促す必要がある。 |
| 解決策 | 福祉事務所の職員が、社会経済環境の変化により急増している受給者への漏給・濫給防止を優先しつつ、プログラムへの参加促進と、世帯ごとの援助方針を分析して新たなプログラムを用意できる体制を整備する。また、生活保護自立支援相談員には、参加者の参加意欲を削ぐことのないよう、丁寧な対応を求める。 |

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|-----------|
| | 2次評価 A |
|--|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|-----------|
| | 3次評価 A |
|--|-----------|

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向